

2026 EDITION

HOKKAIDO BALLPARK **F.VILLAGE**

FACT BOOK



FIGHTERS SPORTS & ENTERTAINMENT CO., LTD.

FIGHTERS SPORTS & ENTERTAINMENT CO., LTD.



CONTENTS



HOKKAIDO BALLPARK **F.VILLAGE**

01 INTRO / OVERVIEW

02 MAP / ZONING / ACCESS

03 ES CON FIELD HOKKAIDO

04 ARCHITECTURE

05 TOWER 11 - HOTEL / ONSEN / SAUNA

06 GOURMET

07 OUTDOOR ZONE

08 ACTIVITIES

09 SHOPS & GOODS

10 ANNUAL EVENTS & SEASONS

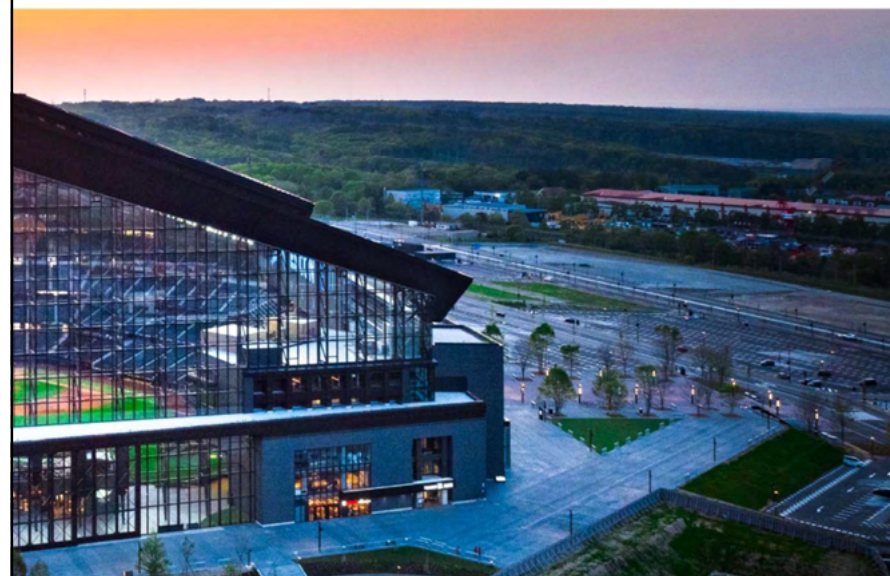
11 RECOMMENDED SHOOTING ROUTE

12 FUTURE

13 ECONOMIC IMPACT

14 COMPANY OUTLINE

15 PHOTOGRAPHY GUIDELINES



WHAT IS F VILLAGE

“世界がまだ見ぬ ボールパーク”を、北海道に。

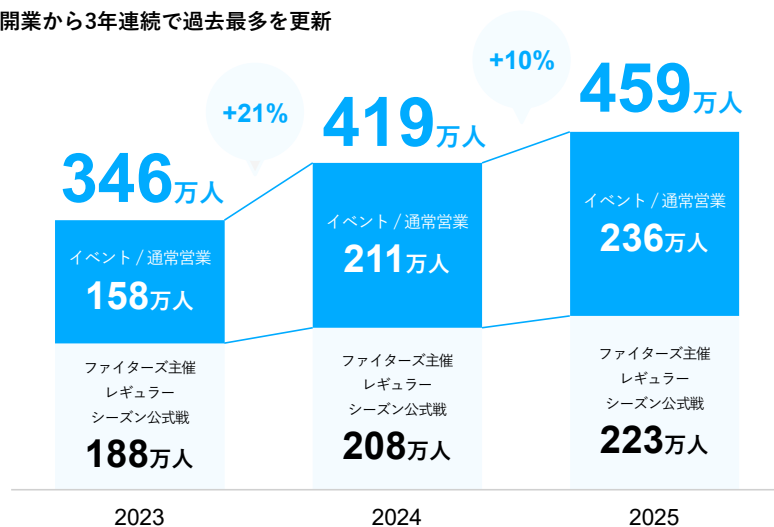
北海道ボールパークFビレッジは、北海道日本ハムファイターズの本拠地「エスコンフィールドHOKKAIDO」を核にした、約32ヘクタールのエンターテインメントエリアです。

エスコンフィールドHOKKAIDOは、日本初の開閉式屋根付き天然芝球場で、球場内には世界初の球場内天然温泉・サウナ、クラフトビール醸造レストラン、ホテル、アクティビティ施設などが集積。野球の試合があるだけでなく、試合がない日も365日楽しめるエンターテインメント空間として運営されています。

来場者数は開業後も拡大を続け、開業3年目には年間約460万人に到達。来場者の約25%は北海道外からで、野球観戦にとどまらない“北海道の新たな観光地”として国内外から注目されています。さらに2028年には新駅開業を予定しており、大学、オフィス、マンションなどの整備も進むことで、“スポーツを核としたまちづくり”はさらに進化し続けます。

ATTENDANCE

開業から3年連続で過去最多を更新



DATA

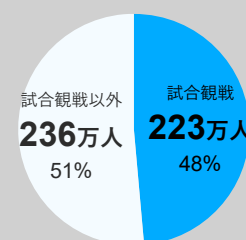
年間来場者数

459万

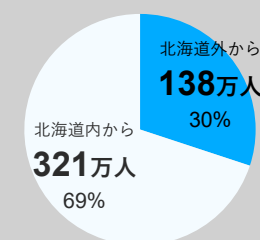
人 / 2025年

前年比 +10% / 2025年7月13日に累計1,000万人を突破

来場目的



居住地・地域別



平均滞在時間 Gameday 4時間52分 Non-Gameday 3時間36分

全国の主要観光・スポーツ集客施設との比較感(2024年度)

施設	年間入場者数
Fビレッジ (2025)	約459万人
東京スカイツリー	約467万人
東京都恩賜上野動物園	約336万人
美ら海水族館	約344万人

出典：総合ユニコム株式会社「レジャーランド&レクパーク総覧2026」



SITE PLAN / ZONING

約32ヘクタールに広がる “球場のある街”全体図

北海道ボールパークFビレッジは、北海道北広島市に位置し、新千歳空港と札幌市中心部のほぼ中間に立地する大規模複合エリアです。JR快速利用により、新千歳空港から約20分、札幌から約17分という高い交通利便性を備え、道内外からの多様な来場を支えるアクセス環境を有しています。

中核施設である「エスコンフィールドHOKKAIDO」を中心に、宿泊、飲食、ウェルネス、ファミリー向け体験、シニア向け居住機能など多彩な機能を集積し、プロ野球興行にとどまらない年間型の集客・滞在拠点を形成しています。

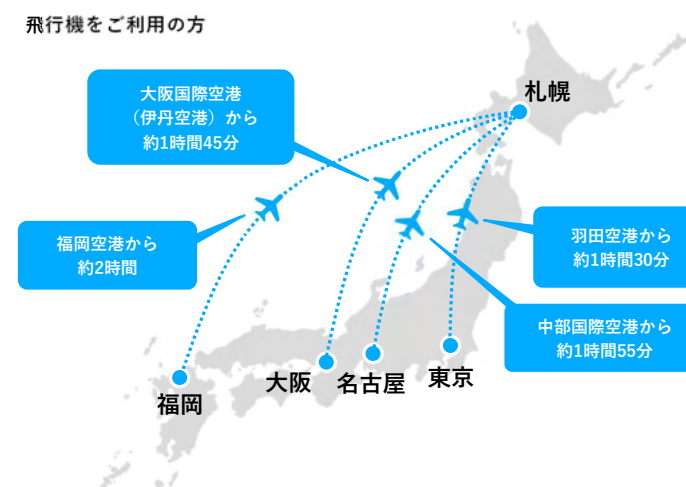
また、Fビレッジは、スポーツを核に人・企業・地域がつながり、新たな価値を生み出す「共創創造空間」としての役割を担っています。観戦の場に加え、交流、体験、発信、地域活性化の拠点として、多様な来場ニーズに応える次世代型ボールパークです。



ACCESS

新千歳空港と 札幌の間に位置する好立地

飛行機をご利用の方



電車・車をご利用の方



WORLD-CLASS FEATURES

世界水準の6つの特長

01

日本初開閉式屋根付き
天然芝球場

日本初の開閉式屋根付き天然芝野球場です。開閉式屋根は約25分で開閉し、移動距離は130メートルです。天候の影響を抑えながら、天然芝を良好なコンディションで育成できる環境を備えています。



02

360度
回遊型コンコース

球場のあらゆる場所からフィールドを望める“シームレス設計”。歩きながら観戦・グルメ・ショッピングを回遊する、これまでにない観戦動線。



03

世界初のフィールドができる
球場内クラフト
ビール醸造レストラン

1階のレストラン席ではビールづくりの現場を間近に、2階のルーフトップ席では北海道の開放的な空や緑豊かなフィールドの天然芝との一体感を感じながら、できたてのクラフトビールを堪能いただけます。



04

ホテル併設の
滞在型ボールパーク

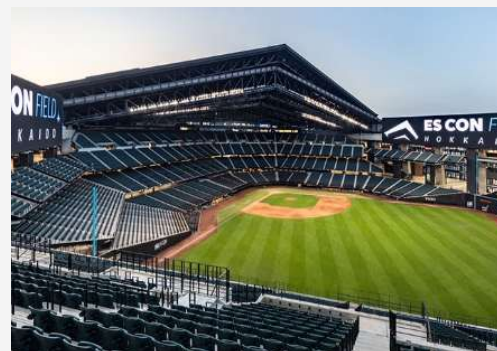
アジア初のフィールドが一望できる球場内ホテル「tower eleven hotel」。唯一無二のロケーションを大切に、エンターテインメントを起点にしたライフスタイルホテルです。客室のベランダ・ソファ・ルーフトップからご家族、仲間、大切な人と、楽しくゆったりと試合観戦ができ、試合がない日も天然芝フィールドを一望できる贅沢なひと時を過ごせます。



05

世界最大級の
ビジョンと演出

エスコンフィールドは、86m×16mの世界最大級ビジョンをはじめ、2026年に8面を増設し、全14面・総面積3,711㎡の国内最大級LED空間へ進化。野球観戦の枠を超えた体験型エンターテインメント空間を目指しています。



06

世界最大級の
ガラスウォール

1,000枚以上のガラスからなる、高さ約70メートル、幅約180メートルのガラスウォール。世界中のスタジアムの中で、エスコンフィールドのものが最大級の面積を誇っています。



AWARDS

国内外の主要建築賞を受賞。

エスコンフィールドは、日本初の開閉式屋根付き天然芝球場です。世界最大級のガラスウォールをはじめ、幅86m×高さ16mの世界最大級のLEDビジョン2基を備えるなど、先進的な設計が特徴の全天候型スタジアムです。その建築性とデザイン性は国内外で高く評価されており、日本のグッドデザイン賞、ドイツの国際デザイン賞、イギリスの構造アワードなど、建築・デザイン・構造分野の主要アワードで受賞・選出が続いています。

受賞歴一例

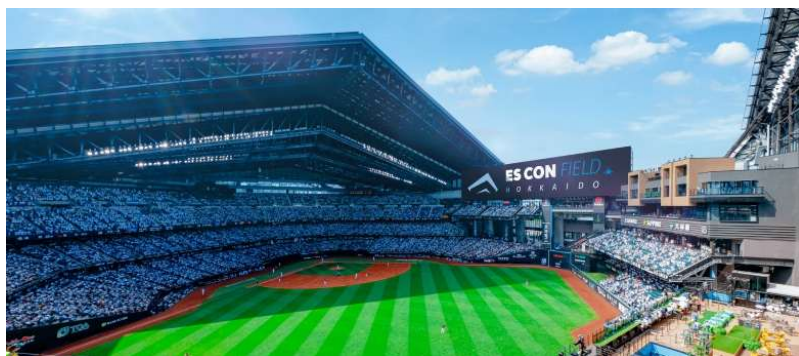
German Design Awards 2024 (ドイツ)
Excellent Architecture

ICONIC AWARDS 2023 (ドイツ)

2023年度 グッドデザイン賞BEST 100



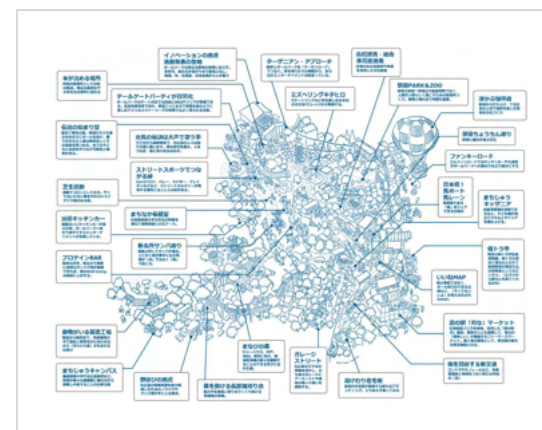
サウナシュラン 2023の特別賞
第16回日本マーケティング大賞にてグランプリを受賞



COMMUNITY

多様な方のコミュニティ拠点としてのFビレッジ

Fビレッジは、スポーツを核に、人と地域、人と自然がつながるコミュニティの拠点です。



Fビレッジと 愉快的仲間たち

地域で活動する企業や団体、行政、学校などが一体となり、それぞれが強い熱量とアイデアを持ち寄り、共同創造することで、街に多様な価値観や賑わいを創出し、北広島エリアの活性化を図るプロジェクトを行っています。



ランニングコミュニティ

4月～10月はFビレッジ内を1周できるランニングコース、11～3月はグラウンド内もしくはコンコースで月1回程度朝ランを実施しています。



ガーデンサポーター

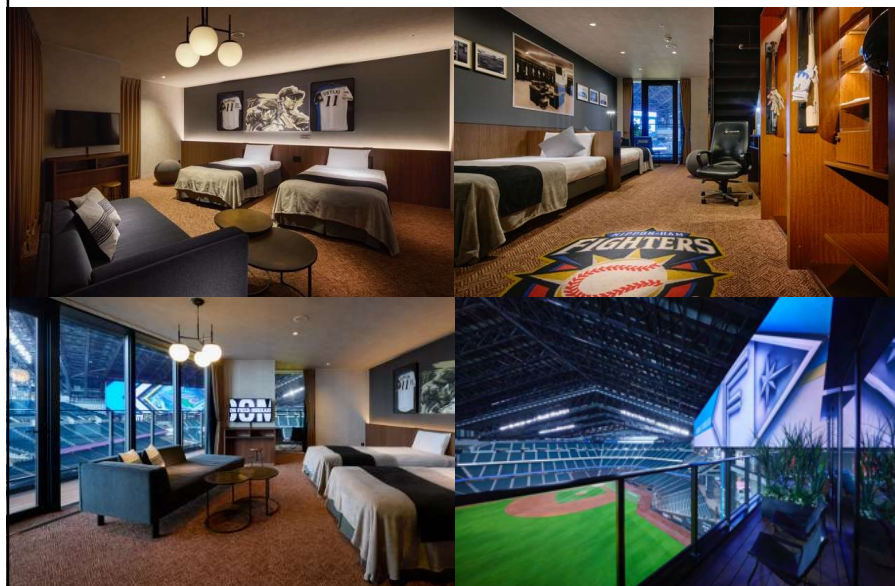
花が好き、ファイターズが好き、Fビレッジが好き。さまざまな「好き」を持った方々に集まっていただき、5月～10月に月2回程度、F VILLAGE GARDENのメンテナンスに携わっていただいています。

STAY

球場内に “泊まる・ととのう”がある。

tower eleven hotel

“多様な観戦体験”を体現するシンボルに泊まりながら観戦できるホテル



アジア初のフィールドが一望できる球場内ホテル。
全13室があり、すべての部屋番号は「11」。
それぞれの客室が野球や北海道にちなんだユニークな
デザインコンセプトが設計されている。

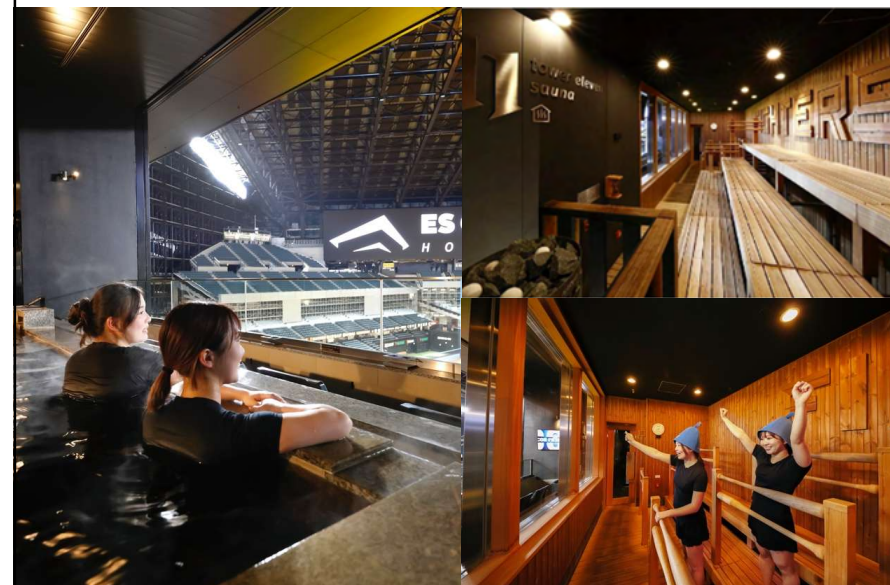
料金 (税込) ※日によって異なる

Gameday : 150,000円～

Non - Gameday : 20,000円～

tower eleven onsen & sauna

世界初の“フィールドを一望できる球場内天然温泉とサウナ”



半屋外の水着着用ゾーンには、フィールドを見下ろす24席の“ととのえテラスシート”があり、サウナ室や温泉からも試合を見ることができるエンターテインメント空間です。

地下1,300mから湧き出すのはモール温泉。365日オープンしているので、球場を眺めながら、いつでも温泉を楽しんでいただけます。

屋内パーゾーンでは、球場内で醸造したオリジナルクラフトビール「そらとしば by よなよなエール」をお楽しみいただけるほか、自動調理ロボット「TechMagic」が調理するサ飯もお召し上がりいただける、魅力的な空間をご用意しております。

料金 (税込)

Gameday : 4,000円～

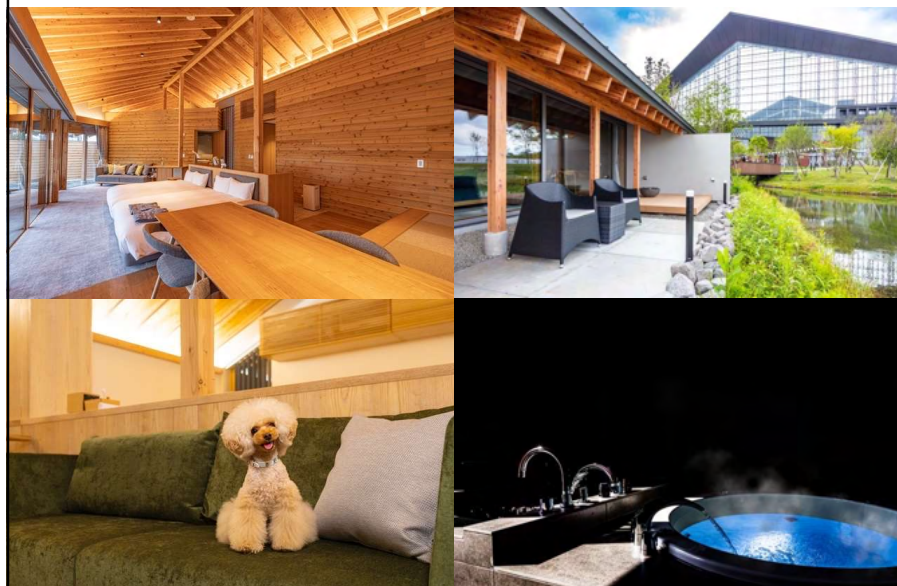
Non - Gameday : 2,500円～

STAY

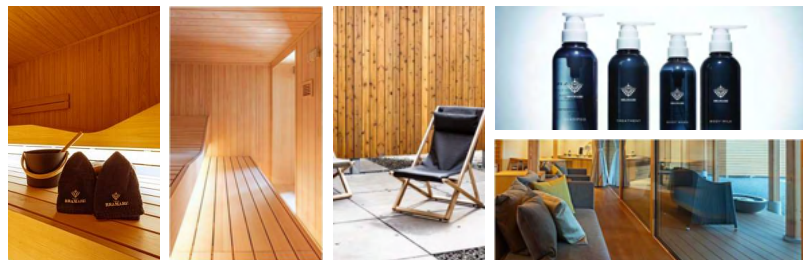
VILLA BRAMARE

ヴィラ ブラマレ

五感で愉しむ静と動。
全棟・個室サウナ付き一棟貸切ヴィラ。



贅沢な時を過ごせるサウナ付きの一棟貸切りのプライベートヴィラ。水辺越しにエスコンフィールドを眺めながら、ゆっくりとした時を過ごすことができます。オールスイート仕様のヴィラが全9棟あり、そのうち1棟は、愛犬と一緒に過ごすことができます。



STAY

ALLPAR

オルパ (BALLPARK TAKIBI TERRACE ALLPAR)

暮らすように泊まろう。
ここボールパークで。



“観る”だけではないボールパーク体験を提供するエスコンフィールドならではの施設です。焚き火を囲みながら食事や交流を楽しむことができ、野球観戦の前後はもちろん、試合がない日でもゆったりとした時間を過ごせます。また、宿泊しなくても、焚き火やBBQを楽しむこともできるので、試合前にワイワイしながら、Fビレッジで一日過ごすことができます。



GOURMET

球場グルメはもう脇役じゃない。

約60店舗が揃う フードショーケース

これまでの“球場グルメ”の常識を鮮やかに覆す、全く新しい食のワンダーランド。「北海道ボールパークFビレッジ」には、日本全国や地元・北海道から厳選された約60店舗以上の多様な飲食店が集結しています。世界初の球場内クラフトビール醸造所や洗練された本格カフェ、100品を超える選手グルメまで、そのクオリティと圧倒的な品数はまさに専門店街そのもの。試合観戦中はもちろん、試合がない日も毎日通いたくなる次世代のフードエンターテインメントがここにあります。



味噌がなくては戦がきぬ



リトルジュースバー



仙臺たんや 利久



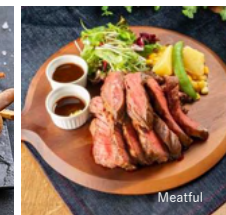
かわむら出汁茶



町村農場



HOTDOG FUN



Meatful



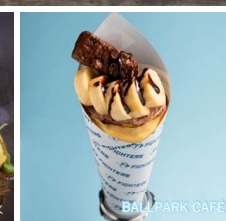
串鳥



ルスツ羊蹄ふた



電光石火



BALLPARK CAFE



小樽なると屋

GOURMET

北海道ならではのグルメがここで食べられる

球場で“北海道”を一気に味わう。



海味はちきょう

球場に響く「おいさー！」

すすきの名店「はちきょう」の感動をエスコンフィールドで！名物「つつこ飯」は、威勢の良い掛け声とともに井から溢れるほど大盛りのいくらを注ぐ圧巻のパフォーマンス。球場限定の贅沢な海鮮丼や豪快な海鮮太巻きなど、厳選された一級品の道産食材を野球観戦しながら贅沢に味わえます。

スープカレー＆ルー GARAKU
エスコンフィールド店

行列ができる
スープカレーを球場で

札幌発祥の大人気スープカレー店「GARAKU」の味がエスコンフィールドに登場！天然素材からとった和風ダンに、秘伝のスパイスを掛け合わせた「コク旨」スープは、一度食べたら癖になる美味しさ。



祐一郎商店

青空と心地よい風、そして
ジュージュ弾ける至福の音！

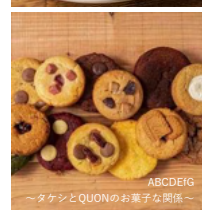
開放感あふれるテラス席で、なんと本格ジンギスカンが豪快に味わえます。熱々の専用鍋で焼き上げるジューシーなお肉と、タレが染み込んだ甘い野菜。エスコンフィールドの熱気と心地よい風を感じながら、冷えたビールで流し込む瞬間はまさに至福。

GOURMET

全国の名店10店舗が集う、にぎわいの飲食エリア

七つ星横丁

日本全国から選りすぐられた名店10店舗が集う、飲食エリア。寿司やたこ焼き、中華などバラエティ豊かなグルメが揃います。試合終了後も灯る提灯のもと、ファンや地域住民が、試合の熱気と余韻を遅くまで語り合える空間。試合がない土・日・祝も営業。



GOURMET

世界初のフィールドが一望できるクラフトビール醸造レストラン

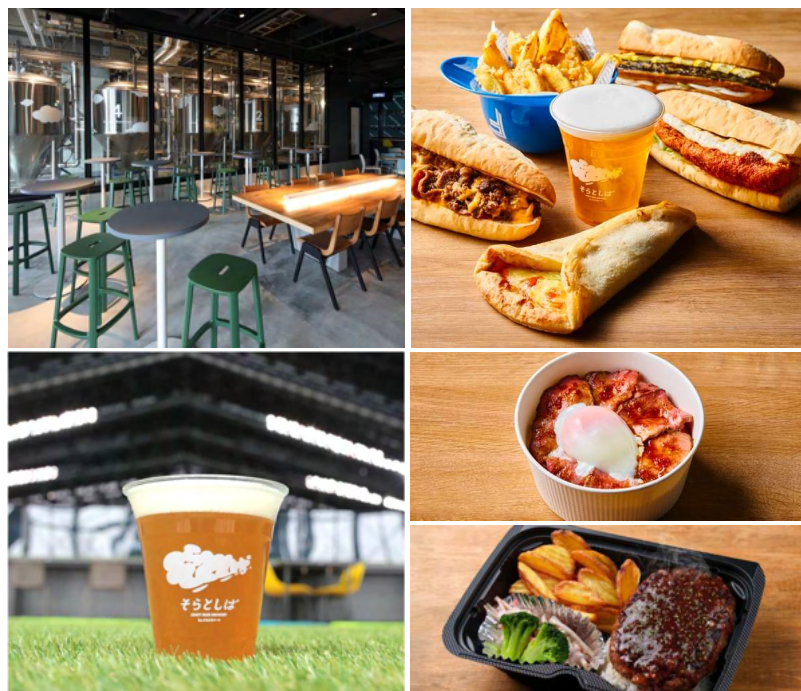
そらとしば by よなよなエール

世界初の球場内クラフトビール醸造所レストラン。代表作「そらとしば Play Ball Ale!」は、ホップの華やかな柑橘香と心地よい苦味、ゴクゴク飲める爽快な軽やかさが特長のセッションIPAです。

センターバックスクリーンに構える店舗は、試合がない日も営業。

誰もいない静かなフィールドと青々とした天然芝を眺めながら、ここでしか味わえない出来立ての一杯を堪能できます。さらにフードメニューも豊富。ワンハンド・スタイルの『そらとしば ロールピザ』は、王道の「マルゲリータ」はもちろん、お肉たっぷりの「ブルコギ」もビールに合います!

試合がない日には限定メニューのハンバーグプレートやローストビーフ丼などランチにぴったりの商品も販売しています。



GOURMET

選手自らメニュー内容を考えて開発

選手グルメ

球場ならではの「選手プロデュースグルメ」「選手グルメ」。選手の好物や出身地にちなんだ逸品から、プレースタイルや名言から着想した遊び心あふれるメニューが揃い、スタジアムでの一食をさらに特別なエンターテインメントへと変えていきます。選手グルメについてくるフラッグを集めるファンの方も多い。





北海道ならではの魅力を体験・発見できる商空間

THE LODGE

ザ・ロッジ

エスコンフィールドと水辺エリアをつなぐFビレッジの中心に位置する「THE LODGE」は、北海道産木材をふんだんに使用した温かみのある建築の中に、北海道各地の魅力を発信するショップやアウトドア関連店舗が集まり、買い物や食、体験を通じて北海道の自然や文化に触れることができます。

野球観戦だけでなく、Fビレッジで過ごす時間そのものを豊かにする、北海道の魅力を発信する施設です。



Specialized Hokkaido Ballpark
F Village Experience Center



THE NORTH FACE F VILLAGE



poolol -Espresso Bar-



ICHIBIKO
北海道ボールパークFビレッジ



HUB HOKKAIDO SELECT SHOP



AINZ&TULPE F BEAUTY
北海道ボールパーク店



ファイターズOB斎藤佑樹氏プロデュース

SUNNY TERRACE

サニーテラス

北海道日本ハムファイターズOB斎藤佑樹氏が代表を務める「株式会社mybase」がプロデュースし、2025年6月OPEN。SUNNY TERRACEは、「誰もがいつでも、誰とでも立ち寄れる場所」をコンセプトに誕生した飲食商業施設です。Fビレッジの新たな交流拠点として、地域住民や来場者が食事やカフェ、ウェルネスを楽しみながら思い思いの時間を過ごせる空間となっています。



アンティカ ピッツェリア ダ ミケーレ
北海道



スターバックス



函館グルメ回転ずし 函太郎
Fビレッジ店



ARROWZ LAB 北海道



洞サウナ (DO SAUNA)



絵空事 Fビレッジ店



“食と農業”の魅力・可能性を、楽しくおいしく学ぶ農業学習施設

KUBOTA AGRI FRONT

クボタ アグリ フロント

KUBOTA AGRI FRONTは、Fビレッジ沢エリアに位置する農業学習施設です。最先端のアグリテックや食料生産の仕組み、持続可能な農業について、映像や展示、体験プログラムを通じて子どもから大人まで楽しく学ぶことができます。Fビレッジならではの「学び」の拠点として、食と農業の未来を考えるきっかけを提供するとともに、地域や企業、教育機関との連携を通じて、新たな価値創造にも取り組んでいます。



「AGRI QUEST」

ミッション形式で館内を巡りながら、食と農業のつながりや未来の農業について学べる体験型コンテンツ



展示・体験コンテンツ

食べものが育ち、届くまでの流れや、農業が抱える課題、技術の進化をわかりやすく紹介



季節ごとのイベント、ワークショップ

子ども向け学習企画や、食や農に親しむ参加型プログラムを実施



併設カフェ

北海道産食材や野菜の魅力を感じられるメニューを楽しみながら、“食べる”体験を通して農業を身近に感じられる



北海道初上陸のベーカリーレストラン

TruffleBAKERY BAKERY & RESTAURANT

トリュフベーカリー ベーカリー アンド レストラン

首都圏を中心に人気を集めるベーカリー「TruffleBAKERY」の北海道初出店となる店舗です。店内で焼き上げるこだわりのパンをはじめ、北海道の食材も取り入れたメニューを提供しており、ベーカリーとレストランの両方を楽しめます。ボールパークの日常利用を象徴する店舗の一つとして、地域住民や観光客など幅広いお客様に親しまれており、「食」を通じてエスコンフィールドの新たな魅力を発信しています。



累計50万人以上が参加した人気アクティビティ

“選手と同じ目線”で歩く。



スタジアムツアー

ファイターズガールがガイドを務め、普段は立ち入ることのできないダグアウトや選手エリア、グラウンドレベルなどをご案内します。ツアーでは、エスコンフィールドの建築や設計のこだわり、「世界がまだ見ぬボールパーク」というコンセプト、試合がある日・試合がない日を問わず楽しめる施設の魅力などを、ファイターズガールならではの視点を交えながらわかりやすくご紹介いたします。球場の舞台裏を巡りながら、ボールパークの価値をより深くご体感いただける人気のプログラムです。

プレミアムツアー

通常のツアーでは公開していないクラブハウスやロッカールームなど、選手が日々使用するエリアまでご案内し、プロ野球チームの舞台裏やエスコンフィールドの設計・運営に込められたこだわりをご紹介します。球場のバックヤードをより深く知ることができる、特別感あふれるプログラムです。



ベーシックツアー

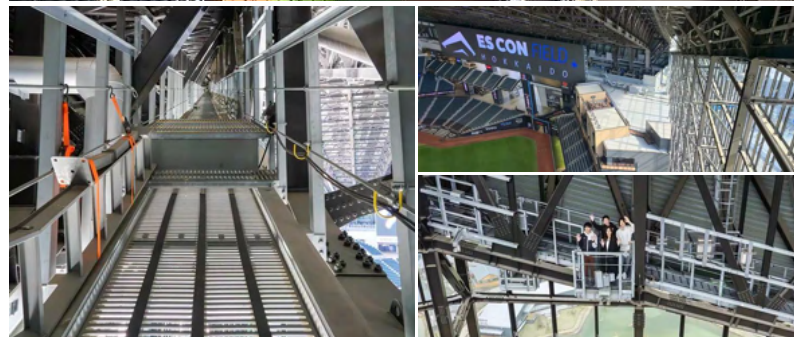
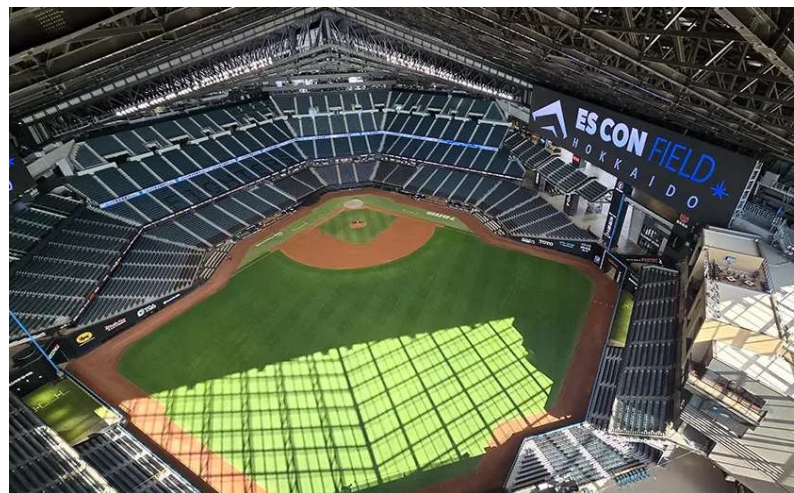
ダグアウトやグラウンドレベルなどを巡りながら、エスコンフィールドの設計コンセプトや建築の工夫、ボールパークならではの魅力をご紹介します。球場の舞台裏を体感しながら、エスコンフィールドの新たな楽しみ方を発見できるプログラムです。

地上70Mの空中散歩

ES CON FIELD SKY WALK

エスコンフィールドスカイウォーク

ES CON FIELD SKY WALKは、地上約70メートルの高さにあるキャットウォークを歩きながら、フィールド全体を一望できるアクティビティです。世界屈指のスケールを誇る「スタジアム・ビュー」を体感できるほか、エスコンフィールドの象徴である開閉式屋根の巨大なトラス構造や、そのメカニズムを間近で見学できます。



北海道の自然を感じられる本格アスレチック

F VILLAGE ADVENTURE PARK

アドベンチャーパーク

北海道が誇る自然の中の体験型アクティビティ。地上8メートルの高さの本格空中アスレチックSKY ADVENTURE（スカイアドベンチャー）や、ZIPライン、スリル満点の大型ブランコSWING MAX（スイングマックス）など、北の大地の自然を生かした未体験のアクティビティがずらり。子どもからおとなまで楽しめる冒険の世界が待っています。



スイングマックス	体重100kg以下	1,000円	体験時間 約5分
スカイアドベンチャー	体重120kg以下	大人 3,850円 子ども 2,750円	体験時間 40分～60分

国内最大級の遊び場

リポビタンキッズ PLAYLOT by BørneLund

リポビタンキッズ プレイロット バイ ボーネルンド



世界中の優れたあそび道具を提供するボーネルンドの直営施設で、約1,900㎡の広々とした屋内あそび場です。赤ちゃんから小学生まで、それぞれの発達段階に応じて楽しめる「からだ遊び」「想像遊び」「自然遊び」など、多彩なあそびを体験でき、雨や雪の日でも家族で快適に過ごすことができます。誰もが自由にあそびに挑戦できるインクルーシブな空間として設計されており、あそびのプロである「プレイリーダー」が子どもたち一人ひとりの「やってみたい」という好奇心や挑戦する気持ちを引き出します。施設内にはボーネルンドショップとカフェも併設されており、ご家族で一日を通してゆったりと過ごせる、エスコンフィールドを代表するファミリー向け施設の一つです。また、試合がある日もない日も楽しめるのが特徴です。



SHOP & GOODS

FIGHTERS FLAGSHIP STORE

ファイターズ フラッグシップストア

エスコンフィールド内で最大規模を誇るファイターズオフィシャルストアです。ユニフォームや応援グッズをはじめ、アパレル、雑貨、限定アイテムなど、豊富なラインアップを取り揃え、観戦の記念やお土産選びを楽しめるショップとなっています。店内には、エスコンフィールド限定商品やシーズンごとの新商品など、ここでしか手に入らないアイテムも多数展開。ストア2Fには、ユニフォームをはじめとしたカスタムコーナーを設置。ユニフォームやキャップなどにワッペンを圧着したり、オリジナルTシャツが作れたり、世界に一つ、あなただけのグッズが作れます。試合がある日だけでなく、試合がない日にも多くのお客様が訪れる、エスコンフィールドを代表するリテール施設です。



オリジナルのユニフォームやTシャツの作成が可能

SHOP & GOODS

FIGHTERS FAMILY STORE

ファイターズ ファミリースタ



ご家族連れをはじめ、幅広い世代のお客様にお楽しみいただけるファイターズオフィシャルストアです。ユニフォームや応援グッズに加え、キッズ向けアイテムやぬいぐるみ、日用品、雑貨など、ご家族でのお買い物を楽しめる商品を豊富に取り揃えています。店内には、オリジナルのぬいぐるみづくりが楽しめる体験型ショップ「HAPPY MOCO MOCO FACTORY」を併設。ユニフォームやアクセサリなどを自由に組み合わせ、世界に一つだけのぬいぐるみを作ることができます。ショッピングに加え、「つくる楽しさ」も体験できる施設として、子どもからおとなまで幅広い世代に親しまれており、野球観戦や北海道旅行の思い出づくりにも人気のスポットです。

AMUSEMENT CORNER

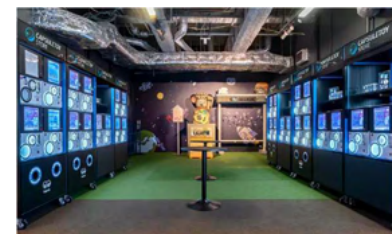
アミューズメントコーナー



体験型ゲームが設置されているエリアです。ここならではの景品も用意しており、野球観戦だけではなくエンターテインメント体験を提供しています。

CAPSULETOY STORE

カプセルトイストア



ファイターズオリジナルアイテムをはじめ、多彩なカプセルトイを取り揃えております。野球観戦の記念やコレクションとしても人気を集めており、「何が出るかわからない」カプセルトイならではのワクワク感も魅力の一つです。

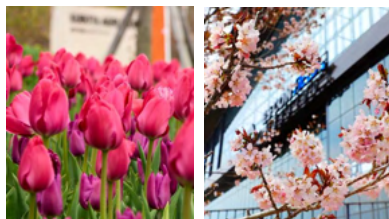
EVENTS

年間400以上のイベント、 四季折々のFビレッジ。



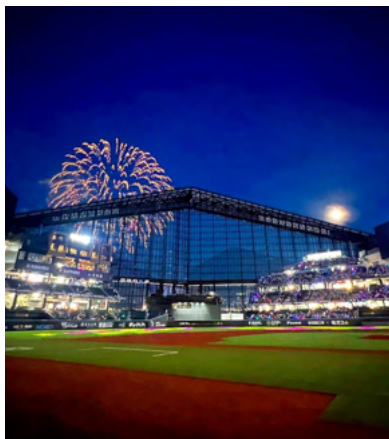
SPRING

春には、約1万本のチューリップや
100本の桜が彩るFビレッジ。



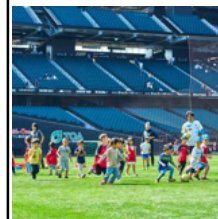
SUMMER

どこを見ても夏、
何をしてもワクワク。



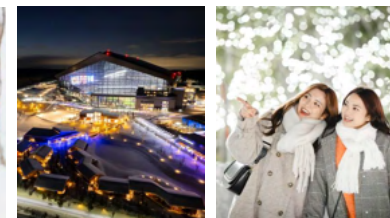
Fビレッジでは、プロ野球の試合がある日にとどまらず、季節ごとのイベントや、試合がない日にも楽しめる多彩な催しを展開しています。四季折々の北海道の魅力を活かしたイベントをはじめ、グルメ、ファミリー向け体験、スポーツ、イルミネーション、マーケットなど、幅広いコンテンツを通じて、幅広い世代が訪れるきっかけを創出しています。

こうした取り組みにより、Fビレッジは“試合を観る場所”から、日常的に人が集い、過ごし、楽しむことのできる年間型の集客拠点へと進化しています。



AUTUMN

体を動かそう。
おいしさを味わおう。
北海道の秋を
たっぷり満喫！



WINTER

北海道の冬をまるごと楽しめる！

おすすめコースを紹介！

GIRLS' TRIP

欲張り女子の日帰り旅行 in Fビレッジ



日帰りだって
こんなに満喫できちゃう！

✈ 東京 ↔ 新千歳の場合



10:50 Fビレッジ着

11:00 スタジアムツアー参加

12:00 KUBOTA AGRI FRONT CAFEで
スープカレーランチ14:00 tower eleven baseball
でバッティング対決14:30 tower eleven onsen & sauna
でととのう16:30 そらとしば by よなよなエール
で球場内醸造ビールで乾杯17:00 フラッグシップストア・
HUBにてお土産を買う17:30 函太郎でちょっと早めの
夕食

18:30 新千歳空港へ

See You!

MEDIA ROUTE



モデルコースを実際に ロケする際のスケジュール

モデルコースを試合がない日を想定し、
撮影するとなると...

8:00 Fビレッジ着

8:15 ① ES CON FIELD SKY WALK

9:00 ② tower eleven onsen & sauna

10:30 ③ スタジアムツアー

11:30 ④ そらとしば by よなよなエール

12:00 ⑤ KUBOTA AGRI FRONT CAFE

13:00 ⑥ HUB

13:30 tower eleven baseball

14:00 ⑦ フラッグシップストア

14:30 函太郎

以降 インサート撮影



▲ 撮影注意事項

- ・tower eleven onsen & sauna：基本的に営業時間前の9時～10時30分まで。有観客時は要相談/水着レンタルは有料
- ・tower eleven hotel：チェックイン前の10時～12時/撮影したい部屋は事前申請
- ・ES CON FIELD SKY WALK：営業時間前8時～9時 ナイター開催時は14時30分～15時45分も可能。体重制限120kg以下
- ・ドローン撮影：場内は営業時間前に実施。場外はなるべく人のいない時間帯で申請書の提出必須
- ・チームエリア：撮影NG
- ・グラウンド内：スタジアムツアーと調整のうえ実施



FUTURE PLAN

2028年へ、Fビレッジは街化へ

球場を中心としたボールパークから、暮らし・滞在・医療・交流がつながる“街”へと進化を続けています。2028年に向けて、新駅開業予定による交通利便性の向上に加え、北海道医療大学の移転計画、ホテルやタワーマンションなどの整備が進むことで、Fビレッジは試合がある日だけでなく、日常的に人が集い、過ごし、関わることのできるエリアへと広がっていきます。

スポーツ・エンターテインメントを核に、医療、居住、宿泊、交流といった多様な機能が集積することで、Fビレッジは第2フェーズに向け、更なる進化を続けます。



2027年 開業予定

外資系ホテル



2028年 開業予定

JR新駅

商業・オフィスの複合施設



賃貸レジデンス

(仮称) ドーミーFビレッジ 2028年春入居開始



医療大学



FUTURE PLAN

育成と交流を広げる、 ファーム施設移転計画



北海道日本ハムファイターズのファーム本拠地移転構想は、
移転先として恵庭市が内定し、新たな段階へ進みました。

本計画は、選手育成環境の充実に加え、
地域連携の強化や次世代との接点創出、
野球に限らず世界中の人たちが集まる場所を目指します。

開業は2030年もしくは2031年を予定しています。

SOCIAL & ECONOMIC VALUE

球場がもたらす 経済効果。

2023年～2032年
北海道への経済効果見込み

約 **1.1** 兆円

北海道への年間経済効果

約 **1,000** 億円

周辺地価の上昇率

最大 **150** %以上

北広島市への経済直接効果

年間 **500** 億円超

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング

「F VILLAGEによってもたらされる統合的価値評価レポート」（2024.2）

COMPANY PROFILE

会社概要

北海道日本ハムファイターズ

1973年に誕生したパ・リーグのプロ野球球団。後楽園球場を本拠地に歩み、1988年に東京ドーム、2004年に札幌ドームにて北海道に誕生、2023年には北海道北広島市のエスコンフィールドへ本拠地を移した。北海道移転後21シーズンでリーグ優勝5回、日本一2回。メジャーリーグでも活躍するダルビッシュ有投手や大谷翔平選手を輩出したことでも知られる。



株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント (FSE)

2019年に設立し、ボールパーク全体のマネジメント業務、球場運営業務、プロ野球関連興行業務などをおこなう事業会社。プロ野球興行をはじめ、エスコンフィールドを中核とするボールパークFビレッジの運営、各種イベント、飲食・物販、地域連携事業などを展開。スポーツとエンターテインメントを通じ、新たな価値創造とまちづくりを推進している。



その他概要

親会社	日本ハム株式会社
本拠地	エスコンフィールドHOKKAIDO (2023.3～)
所属リーグ	日本プロ野球 パシフィック・リーグ
球団理念	Sports Community

球団と街、両輪のあゆみ

- **2004**
北海道にファイターズが誕生
- **2023.03**
エスコンフィールド／F VILLAGE 開業
(346万人来場)
- **2024**
年間来場400万人突破／累計500万人到達
- **2025.06**
SUNNY TERRACE 開業 (斎藤佑樹氏プロデュース)
- **2025**
年間来場459万人 (過去最多) ／7/13 累計1,000万人突破
- **2026.03～**
FSE社長交代 (前沢賢 就任)

ABOUT US

FSE の経営陣。

代表取締役社長

前沢 賢 MAEZAWA KEN



ファイターズ スポーツ&エンターテインメント 代表取締役社長。1974年生まれ。パナソニック、J・坂崎マーケティング、北海道日本ハムファイターズ、パシフィックリーグマーケティング、横浜DeNAベイスターズ取締役事業本部長などを経て、2015年に北海道日本ハムファイターズへ復職。FSEでは取締役事業統括本部長としてボールパーク構想を推進してきた。2026年3月より現職。

常務取締役事業本部長

三谷 仁志 HITOSHI MITANI

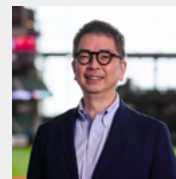


ファイターズ スポーツ&エンターテインメント 常務取締役事業本部長。1973年生まれ。京都大学卒。住友商事、米ノースウェスタン大学ケロッグ校MBA卒業、オリックス野球クラブなどを経て2009年北海道日本ハムファイターズへ転職。前沢とともにボールパーク構想の立上げとプロジェクトを推進した。現在は、FSE事業全般の責任者を担う。

執行役員
事業本部副本部長

伊藤 直也

NAOYA ITO

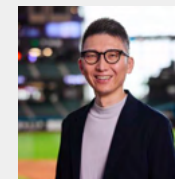


NBAやMLBなど日米のプロスポーツチームで経験を積み、帰国後は東京ヤクルトスワローズで約13年間勤務。新球場構想が進む時期にファイターズへ参画し、現在はチケット、グッズ、ファンクラブ、飲食、マーケティング、法人営業、興行運営、施設管理等、事業全般を統括している。

執行役員
コーポレート本部副本部長

小林 兼

TOMO KOBAYASHI



北海道大学卒業後、2004年に三菱UFJ銀行へ入行し、シンガポールとタイで計10年にわたり東南アジア地域の事業基盤拡大に従事。2020年にファイターズへ転じ、エスコンフィールドを核としたエリアの観光地化・街づくりや、官民連携による地域課題の解決に取り組んでいる。

ATTENTION

撮影時の注意点

tower eleven hotel

- ・お客様のチェックイン前10時~12時の間が可能です。
- ・撮影したいお部屋は指定することができます。
- ・各部屋の素材（静止画）をお渡しすることが可能です。

tower eleven onsen & sauna

- ・営業時間前の9時~10時30分が基本の撮影可能時間となります。
- ・お客様がいらっしゃる時間帯の撮影についての過去実績もあるので必要に応じてご相談ください。
- ・実際にサウナや温泉を体験いただくことが可能です。
- ・体験料、タオルは無料。水着レンタルは1着1,000円となります。

球場グルメ

- ・お店によっては調理シーンの撮影も可能です。
- ・イートインスペースも完備しています。
- ・試合の有無により、営業店舗が異なります。事前にご相談ください。

スタジアムツアー

- ・プレミアムツアーによるチームエリアは撮影禁止となっております。
- ・そのため、取材・撮影の際はベーシックツアーをおすすめしております。

ES CON FIELD SKY WALK

- ・体重120kg以下の方にご参加いただけます。 ・所要時間は30分程度です。
- ・午前8時~9時、ナイター開催日の14時~15時45分の間で撮影いただけます。
- ・スカートは避けて、動きやすい服装でご参加ください。
- ・カメラに映る方（リポーターなど）はアクセサリ類など、落下の可能性があるものは事前にツアー会場内のロッカーにお預けいただきます。

情報は2026年現在のものとなります。取材の際は最新情報をお問い合わせください。

